

平成31年度 栗ガ丘小学校グランドデザイン



のびゆくの像

一 幼保小中一貫教育の推進一
3歳の入り口から15歳の出口まで一貫した教育課程で子どもたちの成長を支えます。また幼保・中学校との連携交流活動、地域と連携した活動をより充実させていくために次の3部会に全教職員が所属し推進します。

- ・学びづくり部会
- ・体づくり部会
- ・心づくり部会

一 小布施町が目指す子ども像 一
グローバル化が進む知識基盤社会の時代に、知(確かな学力)・徳(豊かな心)・体(たくましく生きるための健康と体力)が調和よく備わり、ふるさと小布施を愛する子ども～心から愛せる未来の小布施町を創造していけるシチズンシップを備えた子ども～

一 子どもの実態一
素直な児童が多い
活動は意欲的
指示をよく聞く
体を動かすことが好き
自分で考えて行動することがやや苦手
人間関係が固定しやすい
元気なあいさつが増えつつある

一 学校教育目標一
たくましい体と豊かな心を持ち、自ら学び伸びゆく子ども

- めあてを持って考え、粘り強く学ぶ子ども
- 互いに支えあう思いやりのある子ども
- 郷土を愛し、自然に親しみ、美しさに感動する子ども
- 心身を鍛え、仕事に打ち込む子ども

一 学校経営方針一
どの子どもも喜んで登校する「安心・安全な楽しい学校」
それを支える全教職員の団結力・同僚性「チーム栗小」

本年度の重点課題
1 学校(授業)が楽しいと思える子ども
2 体を動かしたり鍛えたりすることが好きな子ども
3 元気よくあいさつしたり、一生懸命に清掃したりをする子ども

児童保護者等の学校自己評価アンケートの結果から

学びづくり(重点1)

何をつかってどう学ぶのか、ねらいをはっきりさせ、「できた」「わかった」と実感できる学びをつくります。

体づくり(重点2)

正しい体の使い方を身につけるプログラムを継続的に行い、体力・健康づくりの習慣化を図ります。

心づくり(重点3)

自己肯定感を高め、郷土愛を育む『ふるさと学習』を行い、子どもたちの心を豊かに育てます。

土台づくり(重点4)

「あいさつ」は響きあう人間関係づくりの土台、「清掃」は望ましい勤労観を育てるキャリア発達の土台ととらえ、児童教職員が一体となって取り組みます。

本年度の全校研究テーマ 学びをつくる子ども
～「できた」「わかった」喜びを実感しながら、自己更新していく子ども～

- 1 「主体的」「対話的」で「深い学び」を具現化した授業の構築。
- 2 単元を貫く「問い」を位置づけた単元構想。
- 3 子どもが思わず「やりたい」「調べたい」「つくりたい」となるような素材の教材化。
- 4 学び合いの場を大切に授業
- 5 授業の振り返りの充実
- 6 学習ノート、学習カードを工夫し思考表現の力を付ける。

- 1 正しい体の使い方を身につけるための基礎づくり
 - 毎日の「栗小体操」「30秒気を付け」(姿勢)
 - 毎日の「ジャックナイフストレッチ」(柔軟性)
 - スタビライゼーション(体幹)
- 2 運動能力、体力、体幹を分析し、成果や課題を把握。

- 1 『自分のことが好きになる心(自尊感情)』を育てるために、お互いの良さの伝え合う場を設け、自分の心の歩みを『宝物ファイル』に綴る。
- 2 『ふるさとを大切にしようとする心』を育てるために、「生活」「総合(のびゆく)」「社会科」を中心に、生活に根ざした学習を推進し、地域のよさ(魅力・素晴らしさ)を、活動を通して学ぶ。

- 1 相手が気持ちよくなるあいさつができる。
 - 学級、児童会で声がけを続け、あいさつ上手を増やす。
- 2 分担された清掃に「どこを、どのように」など、見通しをもって取り組む。
 - ひざぎつ3回のぞうさんがけを中心に清掃に打ち込む。
 - 一人ひとりに見通しがあるので、無言清掃できる。

キーワード 多様性

学力向上プラン

- 1 授業改善や学力向上を目指した取組
 - 「ねらいを明確に」「めりはりをつけた授業」「ねらいの達成を見とどける」と授業の3観点の質の向上
 - ICT(未来スクール)を存分に利用したわかりやすい授業
 - ドリルの時間の効果的な運用
 - 家庭学習の充実「家庭学習のてびき」をもとに授業とリンクした内容に!
- 2 授業改善や学力向上の評価検証(PDCAサイクルの構築)
 - 業者テスト、児童アンケート、学力テスト(CRT)、全国学力学習状況調査等を分析し、改善点を見つけながら実践していく。
 - 公開研究授業・幼保小中一貫教育の取組みを通して、授業の振り返りを行い、授業改善を行っていく。
 - 初任者研修の示範授業を、互いの授業を見合う場として位置付ける。

「のびゆく」の目標

- 1 ふるさと小布施(人、もの、こと)に積極的にかかわり、進んで小布施のことを学ぼうとする。
- 2 相手とのかかわりを大切にしながら、主体的に課題を解決していく。

～学年で取り組む内容～

- ・3年「ウォークラリー」
- ・4年「小布施丸ナス」
- ・5年「私たちの田んぼ」
- ・6年「北斎巴錦」栽培

～その他 大切にすること～

- 学級ごとの取組
- 様々な教科等と関連付け
- 1, 2年生生活科とのつながり

連携

- 1 幼保小中一貫教育
- 2 PTA活動
- 3 小布施学園コミュニティスクール(学校応援ボランティア)を積極的に活用します。

特別支援教育

特別支援教育コーディネーターを中心に一人一人のニーズに対応します。

各種研修

- ・非違行為防止研修
- ・人権同和教育研修等、教職員の力量向上に努めます。